

暮らしと経営をさらに圧迫する消費税率引き上げに反対します！

“消費税” ネットニュース

第 79 号 2020.05.12
発行 消費税率引き上げをやめ
させるネットワーク宮城
事務局 宮城県生協連
TEL : 022-276-5162
FAX : 022-276-5160
E-mail: sn.m31660hk@todock.coop

●消費税増税に関するアンケート調査結果報告

政府は、2019年10月の消費税率引き上げにあわせて、低所得者に配慮するための複数税率（軽減税率）の導入とともに、消費税増税による景気腰折れを防ぐための対策として、キャッシュレス決済でのポイント還元、プレミアム付き商品券の発行、次世代住宅ポイント制度などを実施しました。消費税の増税による半年分の税収増1兆3000億円を上回る対策となっています。

このような中、消費税ネットでは消費税率10%の引き上げが、事業者、消費者にどのような影響がでているかについて、団体会員と個人会員に対し、アンケート調査を3月6日（金）～3月23日（月）に行いました。

団体会員のアンケートでは、経営への影響について、「大きく影響した・やや影響した」が84%、「あまり影響していない・まったく影響していない」が11%となっています。

個人会員のアンケートでは、消費税増税後の暮らし向きについて、「良くなった・やや良くなった」が0%に対して、「やや苦しくなった・苦しくなった」が79%となっています。

消費税ネットの今後の運動方針について、「消費税率引き下げへの運動の転換が必要」「消費税だけに特化しない運動に変更した方が良い」「運動の継続を求める」「広範な中小企業に呼び掛けた運動が必要」など多くのご意見が寄せられました。今後の取り組みに反映させてまいります。アンケート結果を添付しました。ご覧ください。



●消費税川柳の募集

消費税ネットでは、2004年から消費税増税反対の思いを込めた消費税川柳を募集しています。

例年ですと、入賞作品を選出し吹き流しにしたものを仙台七夕期間中に展示していましたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響のため、仙台七夕まつりが中止になりました。

「消費税川柳」の七夕の展示はできませんが、当ネットワークのHP内に入賞者作品を公表することとし、今年も募集することとしました。宮城県内からのご応募が、他県からの応募に比べて、年々少なくなっていることから、会員の皆様や多くの県民の方々からご応募いただけるよう、今年には新たに「宮城県民賞」を設けました。

ご応募いただきました川柳の中から当ネットワーク世話人会にて選考し、受賞者（大賞1作品、特別賞2作品、入賞10作品、宮城県民賞10作品）には副賞として、大賞5,000円、特別賞3,000円、入賞1,000円、宮城県民賞1,000円の商品券を進呈します。

多くの皆様からのご応募を、お待ちしております。同封のチラシにてご応募ください。



消費税増税に関するアンケート（団体会員）

●配付会員数／98 団体 ●回答会員数／19 団体 ●回収率／19.4%

1. 消費税率が10%になり、経営に影響を及ぼしましたか。			
① 大きく影響した	6	② やや影響した	10
③ あまり影響はしていない	2	④ まったく影響していない	0
2. 消費税増税分を価格・料金に転嫁できていますか。			
① ほぼ全て転嫁できている	5	② 一部しか転嫁できていない	6
③ まったく転嫁できていない	7		
3. 軽減税率により業務負担が増えましたか。			
① とても増えた	2	② 若干増えた	6
③ 変わらない	8		
※増えた内容を具体的にご記入ください			
① 8%、10%がレシートに混在しているとき分けて計上しなければならないとき			
② 契約の見直し、経理業務			
③ 請求書作成時同一の食品類商品で通常税率と軽減税率が混在しており確認を要している			
④ 経理業務の負担激増、システム改修に伴う費用が莫大			
4. 軽減税率制度は、消費行動に効果があると思いますか。			
① とても効果がある	0	② やや効果がある	4
③ 効果がない	6	④ わからない	8
・結局は食費を削るしかない			
5. 消費税10%の増税に対し、実施した対応策はありますか。			
① 会計・経理システムの変更・更新	7	② 販売価格の見直し	4
③ さらなるコスト削減	7	④ キャッシュレス決済の導入	4
⑤ その他	1	(キャッシュレス決済の促進)	
・製造元の値上げに対応するための料金改定			
6. 消費税ネットの今後の取り組みについて、消費税率引き上げ反対の1点での運動を継続するべきか、ご意見をお聞かせください。			
① 一時的に（1年間～3年間）でもいいから、消費税率を5%に戻す対策を講じてほしい			
② 引き上げ反対だけでなく、対案をしっかりと提案すべきと考える			
③ 消費税率引き上げ反対での運動の継続をお願いする			
④ 増税に悲鳴を上げている中小企業は多い。多くの方が賛同しやすい運動の形として1点共闘は重要だと思う。			
⑤ なぜ増税しどう使われるのか、本来の目的と実際の効果に対する検証を求めていくべきではないか			
⑥ 引き上げは絶対反対。引き下げによる消費活性を行うことでの税収を確保すべき			
⑦ 大企業優遇税制を是正すること、消費税率を引き下げることの要求で取り組んでほしい			

消費税増税に関するアンケート（個人用）

●配付会員数／63人

●回答会員数／57人

●回収率／90.5%

1. 消費税率が10%になったことを、ご自身の生活の中で実感されていますか。

① 非常に実感している	31	② やや実感している	23
③ あまり実感していない	2	④ まったく実感していない	1

2. 消費税増税前に比べて、あなたの暮らし向きに変化はありますか。

① 良くなった	0	② やや良くなった	0
③ 変わらない	12	④ やや苦しくなった	33
⑤ 苦しくなった	12		

・6月過ぎたら実感するかもしれません

3. 消費税増税の逆進性対策として導入された軽減税率制度は、逆進性の対策として効果があると思いますか。

① とても効果がある	0	② やや効果がある	7
③ 効果はない	39	④ わからない	11

4. 消費税増税に伴うポイント還元制度を意識して、キャッシュレス決済を利用していますか。ポイント還元制度の開始前と比べ利用頻度が増えましたか。

① 増えた	22	② 減った	0
③ 変わらない	15	④ キャッシュレス決済は利用していない	20

5. 消費税ネットの今後の取り組みについて、消費税率引き上げ反対の1点での運動を継続するべきか、ご意見をお聞かせください。

主な意見のまとめ	件数
<p>①消費税率引き下げへの運動の転換が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当面引き下げ、いずれ廃止の運動に転換すべきと考えます ・できれば消費税は廃止してほしい。当面5%に引き下げるべきと思います。その方向の運動を進めてほしい ・コロナでの景気低下、リーマンショックよりもひどいので、消費税を引き下げの運動を！！ ・コロナウイルスの影響で、ますます景気が悪くなり生活が大変になってきているので税率引き下げ（5%へ）を求めて運動を ・10%は重いです。買い物を控えるようになり生活必需品以外は手を出せません。引き上げ反対は勿論ですが引き下げに声を上げる方が必要なではありませんか ・消費税はなくしてほしいです。0にするか当面5%か3%に引き下げてという運動にしたらどうでしょうか。黙ってはいくらし向上が望めないし消費税ネットの広い輪をつないでほしい ・「5%に戻す」署名がいいと思います ・5%に引き下げ、いずれは廃止になると良いと思う ・できれば以前の税率に戻ってほしいと思うので、屈せずに継続してほしいと思います ・私はむしろ5%・3%に戻してほしいです。自営業なので、ことさらに思います。赤字でも支払う消費税って何でしょう・・・？と切に思います 	14

<ul style="list-style-type: none"> ・5%に引き下げる運動を ・新型コロナを追い風にゼロ%を目指して頑張るべき ・反対と引き下げの2点で運動してほしい ・当面5%に引き下げる要求をすべきではないか 	
<p>②消費税だけに特化しない運動に変更した方が良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税もそうですが、税金の振り分けがどうなっていて、どう使われているのかについての学習も必要と感じます ・もっと現実的な内容であってもよいのではないかと。10%を引き下げても、では社会保障はどうするとか（財源はどうする）しっかり対案を現実的なものとして捉えて対応すべき。子どもたちへの負担軽減できるのか、少子化へはどうか対応するのか、シングルマザーに対しての元夫への責任のあり方等、もっと現実的考え方が必要であると思います ・消費税一本やりでは、もはや運動は意味をなさない。原点に戻って協同組合運動の働きを見直す方向が良い。近代の超資本主義社会の中で、協同組合の先駆的事例等がどうなっているのか？知りたい。宮城県だけがこのようなネットワークをやっているのでしょうか？大きな力になっていない無力感がある ・増税されなくても、これがあるから財政は大丈夫なのだという理由を明らかにしていくことと、そのために、私たちは署名活動なのか、どうして訴えていけるのかを考えていきたいです ・定時定点だけの宣伝でなく県内外と広くキャラバン宣伝も必要ではないか。消費税に頼らない税の集め方に本腰を入れるべきです ・現在夫婦2人暮らしで食料品などの購入もあまり多くないので、2%増税したくらいでは変化がない。増税は止められないとしたら、税金の使いみちを「福祉・教育」の充実にあてることを強く求めるべきと思う ・消費税導入反対から税率アップ反対の今日まで、随分長い年月にわたって関わってきたと思います。消費税は私たちの中に定着してしまったように感じていますが、将来のことを考えますと、この国の社会保障制度の不備を補いながら税金のしくみをどのようにしたらいいのかなど、全体で考えていくことが大切だと思います ・年金生活者にとって消費税は最悪の酷税である。消費税に賛成した政党、議員に税金を課すべきだ ・消費税なしで国の財政は成り立つのだ！！をみんなに知らせること大事。署名お願いしているとき「消費税は必要」と言う方たちに伝えないといけないと思う ・消費税廃止を第1弾として5%に国債を膨らませたのは企業優遇のためである。所得税を元に戻すだけでなく他税（富裕者税策）でも支払うのが道理ではないか。国債で利益を得た人が支払う。一般国民は利を得だとは思わない ・さらなる消費税率引き上げの議論が出ていないなか、名称の変更を含めて、活動を見直すべきではないでしょうか 	11
<p>③運動の継続を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ継続してください。私たちの運動が政治を動かすのだと思います。消費税は逆進性の税で収入の少ない人ほど税率が高く、暮らしを圧迫すると思います。更なる活動に期待し応援します。 ・継続すべきである（他4人同様意見） ・引き上げ反対を中心に継続をお願いします ・継続して行ってほしい ・税率8%の時ですえ老後資金2000万円という情報だった。ひと月ひと月生活費が増えて（買い控えも限界）レシートを見るのが怖い。夫も私も病気があるし、意思表示するための集会参加や文化行事にも交通費が高くなるし不安が大きい。99%の国民から雑巾のように搾り取った税金で国はやるのが違うだろ！と怒りが治まらない。人によって「政治的なことは分からない」とか「〇〇党とは組みたくない」とかあろうが、この1点で力を合わせた運動はとてとても 	15

<p>大切だと思います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税率引き上げは貧困格差を広げるだけであり、弱い者がますます生きづらい社会になるので、この運動は継続すべきだと思います ・反対をしていることを意思として伝えてほしい。継続はよい ・常に声を出し続けることは大事なことです ・反対運動は続けるべきです ・消費税率引き上げ反対の1点での運動を継続すべきです 	
<p>④その他</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> ・広範な中小企業に呼び掛けた運動が必要と思います 	